

「ラウンドロビン方式」に関する説明

2016年より「ラウンドロビン方式」の内容が一部変更になったことを機に、そのルールを採用する大会としない大会が出てきたことで混乱を招いています。

「ラウンドロビン方式」を採用している「東北レディース大会」と「北東北三県対抗戦」に関しては各県支部長の話し合いで新ルールを適用しないことで合意しました。理由は親睦と技術向上を目的とした大会であるということです。

岩手県支部において「ラウンドロビン方式」を採用している大会はいくつかありますが、新ルールを適用している大会は「全国レディース大会」のみです。この大会は全国大会の予選会というグレードの最も高い大会と認められているからです。

※2017年ルールを適用した例を参考にして下さい。

	A	B	C	D	完了試合	勝敗	順位
A		7 5	6 0 (WO)	6 0 (WO)	3	3勝0敗	1
B	5 7		1 6	0 6	3	0勝3敗	2
C	0 6 (WD)	6 1		6 0 (WO)	2	2勝1敗	3
D	0 6 (WD)	6 0	0 6 (WD)		1	1勝2敗	4

注) WD:棄権 WO:不戦勝

上記の対戦表においてA、Bの完了試合は3であり完了試合数の多いチーム(者)が上位となるため、C、Dより完了試合の多いBは0勝でもCとDより順位が上になります。

新ルールを適用しない大会の対戦表はHPのダンロップレディース大会と菜の花カップの結果をご覧ください。完了試合数には関係なく勝敗により順位が決定されています。

JTA 公式トーナメント競技規則

	A	B	C	D	完了試合	勝敗	順位
A		75 75	46 61 60	60 60(WO)	3	3勝0敗	1位
B	57 57		16 16	06 06	3	0勝3敗	3位
C	64 16 06	61 61		60 60	3	2勝1敗	2位
D	06 06(WD)	60 60	06 06		2	1勝2敗	4位

ラウンドロビン方式における順位は以下の順に決定する。

- ① 完了試合数の多いチーム(者)を上位とする。ノーショー、ウィズドロウ、リタイアをした試合は完了試合とならない。ただしその相手チーム(者)は完了試合となる。例外としてリタイアした選手が医師の診断書または大会トレーナー・大会ドクターの診断書を当日提出した場合は完了試合とするが、リタイアした選手は同日の他の試合に出場することはできない。
- ② 勝率の高いチーム(者)を上位とする。
 チーム戦の勝率=勝利した対戦チーム数÷総対戦チーム数
 個人戦の勝率=勝利した試合数÷総試合数
- ③ 2チーム(者)が同率になった場合は、お互いの対戦結果(直接対決)の勝者。
- ④ 3チーム(者)が同率になった場合は、以下の要素で順位をつける。
 - (1) 総勝利試合数の多いチームが上位(チーム戦)
 - (2) (1)が同じ場合、全試合での取得セット率が高いチーム(者)が上位
 取得セット率=取得したセット合計数÷全試合のセット合計数
 - (3) (2)が同じ場合、全試合での取得ゲーム率が高いチーム(者)が上位
 取得ゲーム率=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数
- ⑤ ノーショー、または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。
(例:3セットマッチなら 60 60)
- ⑥ けが等によるリタイアの場合は、勝者はリタイアの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲーム数を記録し、敗者はリタイアするまでに取得したゲーム数を記録する。
(A対Bの3セットマッチで、Bが63 22の時、ケガでリタイアした場合、勝者はAでスコアは、36 62 60と記録する。)
- ⑦ 上記各項によって順位が確定できない場合は、大会要項に明記する方法に従って順位を決定することができる。くじ引き、同順位、タイブレークゲームなど

3) トーナメント方式とラウンドロビン方式の結合方式

- 1) 初回戦のみをラウンドロビン方式、以後はトーナメント方式に切り替える。